



横浜市西区掃部山(かもんやま)公園 奥の建物はランドマークタワーです。2007.4.1

### 平成18年度(第52回)全国溶接技術競技会開催

## 神奈川県代表 被覆アーク溶接で優勝

溶接技量日本一を競う平成18年度(第52回)全国溶接技術競技会・四国地区支部徳島県大会は、平成18年10月21日(土)開会式・競技説明会をホテルクレメント徳島、22日(日)競技会を徳島県徳島市ポリテクノセンター徳島に於いて開催された。

参加選手は被覆アーク溶接の部56名、半自動溶接の部56名合計112名の選手が全国都道府県代表として溶接日本一獲得を目指して技を競った。

神奈川県代表は平成18年度神奈川県溶接技術コンクール第1部でそれぞれ1位、2位になられた被覆アーク溶接の部2名、半自動溶接の部2名合計4名の選手が参加した。

成績は被覆アーク溶接の部で石川島播磨重工業(株)横浜第1工場の柳内信吾さんが1位(最優秀賞)となり、見事全国優勝を果たした。得点は796点と稀に見る高得点であった。

他の3選手も日頃の実力を発揮して二人が優秀賞に入賞する好成績を収めることが出来た。

平成19年度は10月27日・28日群馬県前橋市で開催されます。

平成18年度の優勝選手は下記の通りです。

800点満点

被覆アーク溶接の部	神奈川県代表	柳内 信吾	石川島播磨重工業(株)横浜第1工場	796点
半自動溶接の部	兵庫県代表	中前 成史	三菱重工業(株)神戸造船所	783点

#### 神奈川県代表選手成績

##### 被覆アーク溶接の部

柳内 信吾 1位 最優秀賞  
石川島播磨重工業(株)横浜第1工場  
久富 亮輔 5位 優秀賞  
三菱重工業(株)横浜製作所

##### 半自動溶接の部

中田 幸二 5位 優秀賞  
三菱重工業(株)横浜製作所  
清水 茂寿  
(株)東芝京浜事業所



清水さん

中田さん

久富さん

柳内さん

### 平成18年度（第52回）全国溶接技術競技会入賞者一覧 （被覆アーク溶接の部）

入賞区分	都道府県	氏名	所属
最優秀賞	神奈川県	柳内 信吾	石川島播磨重工業(株) 横浜第1工場
特別優秀賞	福岡県	岩丸 敦士	エムイーシーテクノ(株) 九州事業所
優秀賞	福岡県	高橋 英文	エムイーシーテクノ(株) 九州事業所
〃	愛知県	菅原 学	トヨタ自動車(株)
〃	神奈川県	久富 亮輔	三菱重工業(株) 横浜製作所
〃	熊本県	北岡 昭二郎	ユニバーサル造船(株) 有明事業所
〃	佐賀県	寺田 茂喜	(株)田中铁工所
〃	大分県	宇都宮 博文	大平工業(株) 大分支店
〃	愛知県	鷺見 和也	(株)豊田自動織機
〃	茨城県	石川 真	(株)日立プラントテクノロジ 土浦事業所
〃	徳島県	長尾 雅史	(有)長尾鉄工
〃	香川県	竹原 博	エムイーシーテクノ(株) 四国事業所
優良賞	愛媛県	宮岡 成光	三浦テクノ(株)
〃	岩手県	清水 義正	北上鐵工(株)
〃	新潟県	古田 豊和	東日本旅客鉄道(株) 新津車両製作所
〃	宮崎県	小野 毅	向陽鉄工(株)
〃	北海道	犬亦 雪雄	山本鉄工(株)
〃	宮城県	橋本 義之	東北発電工業(株) 溶接工場
〃	滋賀県	杉澤 義則	川重冷熱工業(株) 滋賀工場
〃	石川県	新谷 篤	(株)小松製作所 特機事業本部
〃	三重県	山口 和宏	東芝産業機器製造(株)
〃	広島県	川西 努	マツダ(株)

### （炭酸ガスアーク溶接の部）

入賞区分	都道府県	氏名	所属
最優秀賞	兵庫県	中前 成史	三菱重工業(株) 神戸造船所
特別優秀賞	愛知県	松永 巧	新光工業(株)
優秀賞	茨城県	大須賀 博道	(株)日立製作所 水戸事業所
〃	千葉県	高階 貞吉	山九(株) 君津支店
〃	神奈川県	中田 幸二	三菱重工業(株) 横浜製作所
〃	福島県	菅野 長秀	東開工業(株)
〃	徳島県	近藤 昭則	(株)アセビ製作所
〃	山口県	古田 和祐	(株)日立製作所 電機グループ 笠戸事業所
〃	岩手県	澤口 泰男	(株)カガヤ
優良賞	香川県	濱上 尚樹	扶桑建設工業(株) 鋼管工場製造部
〃	石川県	立花 和哉	(株)小松製作所 栗津工場
〃	愛媛県	小泉 裕	住友重機械エンジニアリングサービス(株)
〃	長崎県	永松 典久	三菱重工業(株) 長崎造船所立神工作部
〃	埼玉県	栗原 泰広	コウシン製作所
〃	富山県	上田 幸治	佐藤鉄工(株)
〃	群馬県	香田 豊	三洋東京マニュファクチャリング(株)
〃	佐賀県	吉田 健二	(株)伊万里鉄工所
〃	兵庫県	芝 祐二	三菱重工業(株) 神戸造船所
〃	大阪府	向井 正司	日立造船鉄構(株)



選手紹介



もうすぐ出番です。待機する選手



歓迎の阿波踊り



歓迎の阿波踊り

## 全国溶接技術競技会に優勝して

石川島播磨重工業(株) 横浜第1工場 柳内 信吾

この度、徳島県で開催された平成18年度第52回全国溶接技術競技大会被覆アーク溶接の部におきまして最優秀賞をいただくことができ大変光栄に思っております。

全国大会への出場条件である神奈川県大会2位以内には何とか入れたのですが、1位と18点差の2位ということで全国大会に出るのも恥ずかしい点数でした。かろうじてチャンスをいただけたので出るからにはやってみようと思ひ練習に励みました。約1ヶ月間の練習を行いました。どうしても中板の裏波にカットができてしまい試行錯誤の毎日でした。そんな時、神奈川県代表選手による合同練習会が開催されました。一緒に参加した選手や関係者の方々が他社にもかかわらず、神奈川の代表という1つのチームとして接して下さり、いろいろなアドバイスをいただき課題の裏波のカットも克服することができました。さらに大会における細かなノウハウを教えてください、この合同練習会が大きな成長につながったと思います。

全国大会では4組目だったので1、2組の作品を見ることができました。皆、緊張しているのは同じなんだと思ひ、少し気持ちが楽になり、普段通りの溶接をやれば良いと思ひながら本番をむかえました。ですが、やはり緊張で手が震えて中板の裏波で少しカットができてしまいました。出来としては満足のいく作品ではなかったのですが、全作品を見て、上位に入ったのではないかと手ごたえがあり、後はX線検査と曲げ試験の結果次第では？という感じでした。

その後、数ヶ月が経ち、出張先で勤務中に上司から電話があり、「優勝したぞ!!」と言われ震える程の喜びを感じました。

こうして優勝できたのも指導していただいた先輩や神奈川県代表の仲間、神奈川県支部の方々のお陰であり、神奈川県チームで取った優勝だと思ひます。今後は今回の経験を後輩の指導に役立て、自身もより一層腕を磨いていきたいと思ひます。



## (社)日本溶接協会神奈川県支部 創立50周年

(社)日本溶接協会神奈川県支部は昭和32年(1957)3月9日に支部設立総会を開催してから今年で50年になりました。それにより平成19年9月15日(土)に創立50周年記念式典、及び記念講演会、祝賀会を開催することになりましたのでお知らせいたします。開催案内は6月末頃お送りいたしますが取り敢えずお知らせいたします。

是非大勢の方がご参加下さいますようお願いいたします。

開催日時 平成19年9月15日(土) 10時～14時15分 予定

会場 横浜みなとみらい パシフィコ横浜 会議棟 5階

### 見学会の報告

去る3月2日、恒例の神奈川県支部見学会は定員22名の参加者で開催した。今年の見学先は東京都三鷹市にある独立行政法人 海上技術安全研究所及び東京都日野市の日野自動車(株)日野工場を見学した。

海上技術安全研究所の前身は運輸技術研究所といわれていた所です。主な研究は海上輸送の安全確保、海上輸送システムの高度化、海洋環境保護及び海洋開発に関する研究を行っている。そのための研究施設として長さ400m水槽・海洋構造物試験水槽・氷海水槽・変動風水洞、等を見学した。

日野自動車(株)はトラック・バスの製造販売メーカーですが日野工場はトラック及びエンジンの製造を行っているところです。トラック製造ラインに沿って最初から最後の完成まで案内により見学した。日野自動車(株)は日野工業高等学園があり中学校卒業生を対象にして一般の工業高校とほぼ同じ科目に加え認定職業訓練を行っている。自動車の製造・整備、工作機械の基本実習や板金の基本学習・ガス溶接、アーク溶接また電気的基础、電気設備の取扱い等技術技能の習得と3年間の卒業時には高等学校卒業の資格も得られるそうです。



### 講習会の報告 ”溶接構造物に関する 設計・施工・検査技術のポイント開催”

平成19年3月14日(水)横浜市中区寿町の神奈川県立神奈川労働プラザに於いて標記講習会を開催しました。遠くは静岡、埼玉、長野、茨城県からの参加もあり77名の参加者は大変熱心に聴講されていました。

この講習会は、いわゆる「団塊の世代」の大量な定年期を迎えるに当たり、技術・技能の継承を次世代に伝え、また活用していただくことを目指して溶接構造物に関する設計・施工・検査技術に長年携わっていた専門家下記四氏に講師を依頼しその分野の事例も含めて講演していただいたものです。

#### ①溶接設計と不具合事例

石川島播磨重工業(株) 技術本部 技監 中西 保正氏

#### ②溶接施工(ステンレス)

産業技術総合研究所 デジタルものづくり研究センター 川嶋 巖氏

#### ③溶接施工(低合金鋼など)

(株)神戸製鋼所溶接カンパニー 技術開発部開発担当次長 原 則行氏

#### ④溶接検査、非破壊検査

石川島検査計測(株) 技術研究所 所長 荒川 敬弘氏



## 適格性証明書の登録事項変更に伴う無料サービス業務の有料化について

### 1. サーベイランス申請と同時に記載事項の変更をする場合

- ① 適格性証明書に記載された氏名、生年月日、自宅住所、勤務先名の変更は記載事項変更手数料1,050円がかかります。  
従ってサーベイランス料金1,260円+記載事項変更手数料1,050円の計2,310円となります。
- ② サーベイランス時に、紛失、破損による再発行申請が伴う場合は記載事項変更手数料は不要です。  
従って、サーベイランス料金 1,260円+再発行手数料3,150円の計4,410円となります。
- ③ サーベイランス時以外の時期に記載事項変更と再発行を行う場合は再発行手数料3,150円となります。
- ④ 勤務先住所の変更及び通知先変更は、手数料は無料です。  
尚、従来サーベイランス連絡葉書に赤ペンなどで書いた変更は出来なくなりました。

### 2. 成績開示証明書（不合格などの理由について）問い合わせる場合

個人情報のプライバシー保護が厳しくなります。  
手続きは、所定の用紙に記入して本人が直接東部地区溶接技術検定委員会に手数料1,050円を添えて郵送または持参してください。後日手紙でお知らせするようになっています。  
成績開示を受ける方は上記の検定委員会（044-299-3541）へ申し込んで下さい。

### ◎ 試験申込書に添付する写真及び印鑑について

写真は、試験申込書の写真貼り付け欄に黒い影で顔の大きさが描いてあります。その大きさの顔写真を貼り付けてください。最近6ヶ月以内に撮影したものです。写真が小さい場合は受付できませんので注意してください。  
写真が添付されていない場合も受付できませんので必ず添付してください。  
また、受験者本人の印鑑と申込書左下の証明者欄の印鑑は必ず押してください。  
印鑑が押されていない場合は受け付けできません。

#### (写真全面貼付)

最近6ヶ月以内に脱帽で上半身を撮影したものを

#### 写真のサイズ

縦4.5cm×横3.5cm

パスポート用

証明書の写真になるので、上記サイズを厳守すること。なお写真貼付に際しては、必ず右肩を用紙に合わせて枠内に貼ること。

### ◎ 角変形について

平成16年4月1日以降の評価試験から5度を超える角変形は不合格になりましたので受験者ご注意ください。

## 更新試験（再評価試験）について

- ① 更新試験の受験期間が次のようになっています。  
更新試験の受験期間は技術資格の有効期限が切れる8ヶ月前から2ヶ月前までに試験を受けなければなりません。
- ② 更新試験に合格した場合は資格の登録日が現在資格の有効期限に合わせて登録されるようになっています。
- ③ 上記期間外に受験する場合は有効期限内であっても、新規試験（学科試験免除）で基本級も受験しなければなりませんのでご注意ください。
- ④ 更新試験と同時に新規種目も受験出来ますが、この場合は新規試験（学科試験免除）扱いとなり左記②の扱いは受けられません。
- ⑤ ②の扱いを受けようとする場合は新規試験及び更新試験それぞれ試験申込書を別にしてください。
- ⑥ 登録年月日と有効期限が同じで証明書番号が異なる別々の資格を一枚の試験申込書で申し込んで受験する場合は現在のところ更新試験の扱いにはなりません。新規受験になってしまいますのでご注意ください。更新試験の扱いを受ける場合は、申込書を別々にして下さい。
- ⑦ 試験結果の発表は、毎月の15日以前の試験は翌月末の発表です。16日以降の試験は翌々月末の発表です。

## サーベイランス（継続試験）と更新試験（再評価試験）

溶接適格性証明書には登録年月日（発行年月日）と有効期限が記載されています。サーベイランスとは書類のみの手続きで試験はありません。有効期限の3ヶ月前から期限の日までに手続きをしてください。必ず有効期限の3ヶ月前に通知を出しています。最初（1回目）のサーベイランスをしないと2回目のサーベイランスの通知は行きません。サーベイランスは2回です。

サーベイランスを2回されると、次は更新試験（再評価試験）になります。実技試験を受け直して合格されると新しく証明書が発行されます。但し、1回目のサーベイランス又は2回目のサーベイランスをされませんと更新試験の案内も行きませんのでご注意ください。